

【コミュニケーションロボットによるホテルソリューション】

変なホテル大阪心斎橋2019年2月1日開業



ロビーにロボホン専用ステージが設置され、7時から23時までの毎正時に19体のロボホンが一斉に踊るパフォーマンス。パフォーマンスの際には、ステージ後方にロボホンと連動した3D映像を投影。
また、ロボホン1体はフロントデスクに常設、宿泊客に対して、設備やサービスなどを音声案内。宿泊客はロボホンに接続されたタブレットのメニューから項目を選択すると案内を利用でき、言語は日本語、英語、中国語、韓国語に対応。

変なホテル大阪西心斎橋2019年3月14日開業



ロボホンルーム・客室イメージ



3階をロボホンルームフロアとし、ロボホンの着座タイプをフロア内全15室に設置。客室に設置されたロボホンが、宿泊者の専属コンシェルジュとなり、ホテル館内情報の案内や、観光情報、天気、ニュースなどをご案内するとともに、歌やダンス、クイズや物語を読むなど、客室内での新しい体験を提供。

ロボホンが宿泊客の翌日のチェックアウト時間やWi-Fiのパスワードなど、ホテルに関する質問をするとロボホンが回答。名作文学を朗読してくれたり、楽曲や鼻歌を聞かせるとその曲のアーティスト名やタイトルを教えてくれたり利用者がすぐに楽しめるアプリケーションも用意。

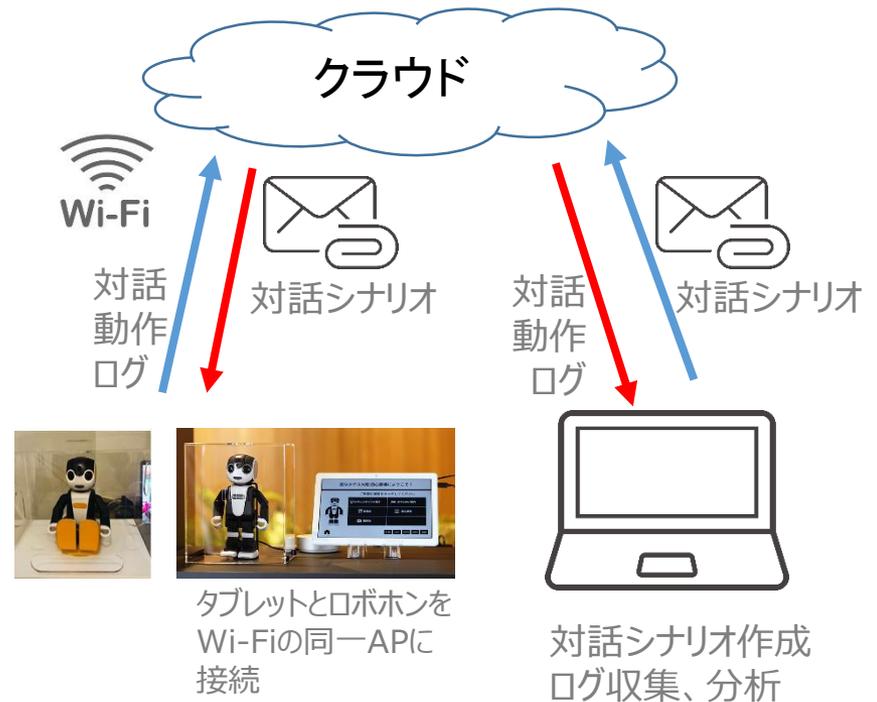
【コミュニケーションロボットによるホテルソリューション】

変なホテル京都八条口駅前2019年3月29日開業



ロボホン3体をフロントデスクに常設、宿泊客に対して、設備やサービスなどを音声案内。宿泊客はロボホンに接続されたタブレットのメニューから項目を選択すると案内を利用でき、言語は日本語、英語、中国語、韓国語に対応。

<システム>



小型、人型コミュニケーションロボットの活用

設置場所を選ばない身長約20cmの小型で親しみやすい人型のコミュニケーションロボットで、音声対話や専用の小型、高トルクのサーボモーターを13個使用し、約40種類のゆっくりとした舞から素早いダンスまで可能でお客様を楽しませる。

ログデータを活用したサービス向上

宿泊者がロボホンにどんな時間にどんな使い方をしているか、どんな話しかけをしているかなど、情報をログデータとしてサーバーに保存。これらの情報を後から分析し、意図通りの使い方をしているか、対話がうまくできているか、などを明らかにすることにより、サービス改善に繋げる。

ロボットへの直接メールから 時間帯・季節等に応じたシナリオ更新

サーバー上で管理されるロボホンの発話内容は、時間帯や季節等に応じて出しわけ可能。将来的には、例えばホテルからの情報を、タイムリーにロボホンに喋らせるよう、ロボホンの発話シナリオをメールを使って遠隔で変更。